



すすめるけん

県がすすめている取り組みを紹介します！

エスディージーエス

SDGs(持続可能な開発目標)をご存知ですか？

SDGsとは？

SDGsとは、2015年に国連サミットで採択された2030年までに持続可能でよりよい社会を目指す世界共通の目標です。

経済・社会・環境の3つの側面のバランスがとれた社会を目指すため、17のゴール(長期的な目標・ビジョン ※右図)と169のターゲット(具体的な達成目標)から構成されています。



なぜSDGsが必要なの？

このまま環境汚染や資源消費などが続けば、近いうちに地球上の成長は限界に達する可能性があるといわれています。皆さんの子や孫の代の世界が、今以上に安心安全かつ平和で、生きていて幸せと思える世界にすることが必要です。

SDGsは発展途上国だけの問題ではありません。世界中の国々がSDGsの理念のもと自国や世界の問題に取り組むことで、貧困を終わらせ、社会的・経済的状況にかかわらず全ての人が尊厳を持って生きることができ、「誰一人取り残さない」世界の実現につながります。

県の取り組み

第1回ながさきSDGs普及ミーティング

昨年11月、県内におけるSDGsの普及・啓発を目的に、SDGsに積極的に取り組んでいる県内企業や経済団体などが集まり、意見交換をしました。

今後も企業や民間団体の皆さんとも連携しながら、県民の皆さんのSDGsの認知度向上や県内企業のSDGsの取り組みの推進を図っていきます。



身近なSDGsの例を見てみましょう



- ・マイバッグ、マイボトルを利用する
- ・食品ロスを減らす
- ・環境に配慮した製品を購入する



夢をかたちに!

長崎県知事
中村法道

SDGsの取り組みにつながる個人の行動は実は数多くあります。SDGsを「自分ごと」として捉え、日々の何気ない行動を見直してみましょう。SDGsに取り組むことは本県の課題の解決にもつながります。皆さんの手でよりよいふるさとをつくりながら、世界にも貢献していきましょう!

問合せ 県の政策企画課 ☎095-895-2073

長崎県 SDGs

検索



株式会社若宮水産

(吉崎市)



お話を伺ったのは
取締役
さかもと
坂本 あゆみ さん

吉岐をはじめ県内のアワビ、サザエを全国へ

1961年創業で、吉岐をはじめ県内産の新鮮なアワビやサザエの水産食材を全国に送り出している専門商社です。その取扱高と品質は全国でもトップクラスで、「若宮ブランド」として高い評価をいただいています。また、25年ほど前に芦辺港前に土産品店を出店したほか、2008年には地元の素材の良さを生かした自社オリジナル水産加工品ブランド「吉膳」も立ち上げました。



芦辺町の港近くにある「吉膳」の直営ショップ



「吉膳」ブランドの加工品。水産加工振興祭水産庁長官賞など多数受賞している

自社ブランド「吉膳」の多彩な商品が好評

近年は、県の補助金を活用し、真空包装機や低温殺菌装置などを導入したことで、県産の食材を加工した「タコのトマト煮」などのレトルト食品や「サザエのアヒージョ」などの常温商品の開発ができたため販路の幅が広がりました。また、サザエカレーや芝エビグラタン、寒ブリしゃぶしゃぶセットは、吉岐市のふるさと納税の返礼品としても人気を集めています。



県内で頑張っている企業や人にエール(応援)を送ります!

土産品店にカフェを併設 情報発信基地を目指す

昨年3月、土産品店内に新たにカフェをオープンしました。吉岐牛や吉岐ゆず生産組合のゆずペーストといった特産品を使ったメニューを提供するほか、日本ソムリエ協会認定のワインエキスパートという資格を生かし、吉岐焼酎の酒蔵とのコラボなどでも地域を盛り上げていければと思っています。吉岐の魅力伝えるイベントやセミナー、個展などのスペースとしても活用していただき、島の情報発信基地、島内外の方々の交流の場となることを目指しています。



広々としたカフェスペース

吉岐をはじめ県内で獲れた良質の水産食材を全国の人に食べてもらいたい!

